



パリトン・中山 悌一

昭和16年、東京音楽学校卒業、木下保、ネトケに師事。昭和27年渡独、ミュンヘンの国立音楽大学にてゲルハルト・ヒュッシュに師事、リート、オラトリオを学び、同31年暮に帰国、その間欧州各地にてリサイタル、オラトリオのソリストとして演奏し、ミュンヘン放送局よりしばしば放送も行った。帰国後は、全国各地に於けるリサイタルでリートの真髓を示し、昭和32年度の毎日音楽賞を受賞（個人として二度目）している。



ピアノ・小林 道夫

昭和30年 東京芸術大学卒業、永井進、石沢秀子に師事。バロックから古典にかけての音楽を特に勉強しており、鋭く、適確な音楽の把握と、すぐれたテクニク、清潔な音色に他に類がなく、学生時代よりステージで活躍していたが、昭和31年には毎日音楽賞新人奨励賞を受賞している。